

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
  - 区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
  - 会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
  - 会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
  - 会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
  - 郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
  - 川崎ブレーメン郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
  - 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
  - 川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617

●元住吉西口(ブレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- 果物 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
- 介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉Gビル2F Tel.044-430-6963
- カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
- 花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
- 鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
- ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
- パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
- カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
- コーヒー専門 MUI (旧 もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
- カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
- 接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
- コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
- 時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
- 広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
- ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
- 理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- 介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
- 調剤薬局 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
- 飲み喰い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
- 古本・CD 凸つと凹つと 中原区木月2-10-3
- STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
- お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
- Sステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
- サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
- 鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880

●元住吉近郊

- 喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688

●武蔵小杉近郊

- 喫茶店 Coffee Spot Life (ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
- カフェ COSUGI CAFE 中原区小杉町1-403-53 COSUGI VILLAGE1F Tel.044-543-9151
- 紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
- カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822

●東横線沿線

- 調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
- 調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
- 写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
- カフェレストラン カンファーマ・ツリ 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記事は無料です。

M M A G A Z I N E 発行人 塚田親一 発行 音楽好きな友の会 〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町33-7 (株)アルファブリー内 TEL 044-799-7127 FAX 044-799-7128 2017-8-20-700 PrintingRK

# M MAGAZINE

●Motosumiyoshi ●Music ●Mate ●Meet ●Memories

元住吉の気軽な音楽会  
2017 9月号  
後援: 「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
公益財団法人 川崎市国際交流協会  
人形劇団ひとみ座 / rk-factory  
http://ontomo.jp/

9月2日(土) 14:00~  
響けよ歌声  
日韓高校生音楽会  
場所 国際交流センター

9月3日(日) 13:30~  
9月17日(日) 13:30~  
音友レコード倶楽部  
場所 イダカフェ

9月12日(火) 12:10~  
ランチタイム  
ロビーコンサート  
場所 川崎市生涯学習プラザ

9月25日(月) 13:50~  
ママのおひざで聴く  
ヴァイオリンコンサート  
場所 イダカフェ

9月30日(土) 14:00~  
沖縄の風が伝える《命どう宝》  
東風平高根コンサート  
場所 国際交流センター

## ヴァイオリニストの 田島華乃です。

連載 21 音を通じてみる、子供たちの個性

様々な場所で、ちびヴァイオリン体験コーナーやコンサート、個人レッスンなどしていると、十人十色の反応があります。0歳の赤ちゃんたちは、ヴァイオリンの音に驚いてしばらく凝視した後泣く子や、音に合わせて手足をバタバタと動かしてキョロキョロする子、ママにしがみついたり、私の方へ来る子、ウトウト眠る子や、テンションが上がる子...どの子が正解とかは全くなくて、みんな素直です。最初の反応から、少し慣れてくるとまた変化があります。それもまた、子供たちによって違うのです。

感性というのは、その子のオリジナルで、見たものや聞いたものを感じたり表現する方法が、心とダイレクトに繋がっているのを感じます。もう少し大きな子供たちになると、ママの様子や他の子の反応や、私の様子を観察して、では自分はどういう態度にしようか、というのを考えている時があります。もちろん、音楽だけに反応している子もいます。幼稚園や保育園という社会の中で、子供たちのコミュニケーションの取り方があって、沢山のことを体験して学んでいるのだなあ、と感心しています。

## ママのおひざで聴く ヴァイオリンコンサート 9月25日(月)「イダカフェ」

開場: 13:30 / コンサート: 13:50~14:30

コンサート前後は、ちびヴァイオリン体験コーナーです。

コンサート終了後の15:00~、15:30~イダカフェで個人レッスンをします。【限定2名】★一人1台レンタル楽器をご用意します★お子さん、ママどちらでもOK ★参加費2500円 お問い合わせ・ご予約は kano.otonoya@gmail.com

1~3時間迄¥3,000、1日レンタル¥5,000 (9:00~21:00まで)

音楽演奏会、写真や絵画を展示したい、手作り雑貨を販売したい、など各種教室に井田小学校正門前

idacafe

コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9

## 音楽好きな友の会 Music Enjoy Club

音楽が好きなら、一緒に楽しみませんか? ボランティアスタッフ募集中!

レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営と一緒に楽しみませんか? 年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で、いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!

入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索 090-9398-2889 (担当: 塚田)

## 川崎市国際交流センター

多文化ショーステージ 「響けよ歌声」日韓高校生音楽会 9月2日(土) 14時~15時30分 川崎市国際交流センター・談話ロビー 参加費無料、申込不要

沖縄の風が伝える《命どう宝》 東風平高根(ごちひらたかね)コンサート 9月30日(土) 13時30分開場 / 14時開演 川崎市国際交流センター・ホール 全席自由 2,000円 \*高校生以下・障害者手帳をお持ちの方と介護者 1,000円 ●東風平高根さんの三線の弾き語りによる沖縄の歌 ●沖縄の話(戦時中東風平さんのお父さん・おじいさんが体験した話) ●エイサー演奏と和太鼓祭音及び平間わんぱく青年団の団員によるエイサー踊りの共演 ●シンセサイザーと太鼓演奏を入れてにぎやかに沖縄の歌を熱唱。フラダンスの踊りの名手も入ってカチャーシーを踊ります。

## 川崎市生涯学習プラザ

第58回 ランチタイムロビーコンサート 9月12日(火) 川崎市生涯学習プラザ 3F 多目的ホール 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終了予定 / 料金:無料

【出演】 アンサンブル・トゥッティ (ボーカル&ピアノ) 変えて活動中。近年ではリアレンジした名曲や、メンバーのオリジナル作品を演奏することに好評を得ている。 [サポートピアニスト: 鼓緒太]

【プロフィール】 アマチュアのヴォーカルアンサンブル。メンバーは、デュオやトリオなど、時と場所に依りて形態を

【お問い合わせ】 (公財)川崎市生涯学習財団 総務室企画情報係 ロビーコンサート担当 TEL 044-733-5811 E-mail: concert@kpa.or.jp 川崎市中原区今井南町28-41

【曲目(予定)】 スカポローフェア グリーンスリーヴス 瑠璃色の地球 スタンドアローン ジョンの不思議な子守歌 ちなし ねむの木

## くじら座 [くじら座]&「牧野公美」オリジナルCDアルバム好評発売中。

●くじら座CD ライブ会場限定版!!。人気の「銀河鉄道」と「ふるさとに帰ろう」2曲入り。現金ではなく「夢と交換」という形でお渡しさせて頂いています。 ・牧野憲人(ギター/ヴォーカル) & 牧野公美(ピアノ/コーラス)

●牧野公美「目覚め」 ジャズやクラシックのテイストを取り入れた多彩なソロ活動のCDアルバム。5曲入り ¥1500円。

お問い合わせ、お求めは: くじら座 kujirazarecords@gmail.com

## モトスミ Jazz Night

詳しくは モトスミ Jazz Night 委員会 Mail:motosumijazznight@gmail.com TEL 050-5275-5740

フォレストコーヒー イダナカ商店街店&サライ通り店 中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

ゆうき亭 ブレーメン通り商店街、鉄板焼き 中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999 ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30 (LO 22:00) (休:火曜日)



ハレとケという言葉。

皆さんは、「ハレ」と「ケ」という言葉についてご存知でしょうか？今でも残っている使い方としては「晴れ着」というような使われ方をしているかと思いますが。（最近のティーンエイジャー、ティーンに聞いてみたところ、晴れ着の意味もよくわかっていませんでした…）元々は「ハレ（霽れ、晴れ）」というのは非日常、つまり特別な日（様々な催し物、結婚式やめでたい席）のことを指して、「ケ（曇）」というのは日常生活のことをさす意味で使われていました。しかし、70年代に「ケ」の意味について様々な議論が行われるようになりました。それは、「ケ」には「ケガレ」ということも含まれるのではないか、というような考え方です。このような考え方に至ったきっかけというのは、「ハレ」と「ケガレ」のモデルには、日常生活を営むためのケのエネルギーが枯渇するのが「ケガレ（曇・枯れ）」であり、「ケガレ」は「ハレ」の祭事を通して回復するという考え方がなされるようになったからです。また他にも様々な切り口で「ハレ」と「ケ（もしくはケガレ）」を説明している学者の方がいるようです。（詳しくは大変恐縮ですが、紙面では書ききれないので、物の本やインターネットなどを引いていただくと幸いです。）そこでようや



世阿弥像

く先月お伝えした世阿弥著の「風姿花伝」の話に入りますが、以前大学在学中の課題で「門々條々」というパートを現代語訳して、自分の行っている芸術活動と絡めて論じるというものが課されたことがありました。そのパートで自分が一番興味を持った、関心を持った部分が「そもそも、一切は陰・陽の和するところの堺を成就とは知るべし。晝の氣は陽氣なり。されば、いかにも静めて能をせんとする企みは、陰の氣なり。陽氣の時分に陰の氣を（生ずる）事、陰・陽和する心なり。これ面白しと見る心なり。やがてよき能をして、人の心花めくはようなり。これ、夜の陰に、陽氣を和する成就なり。（されば）、陽の氣に陽とし、陰の氣に陰とせば、和する所あるまじければ、成就もあるま

じ。成就なければ何か面白からん。」つまり、明るい時（時間、場所、会場の空気など）には暗く重たい空気を作り、そこから表現を始めて行く。逆に暗い時には、楽しいような感じから始めて、だんだんと表現を初めていくのが良い、ということです。以前の記事でも少し触れたかもしれませんが、これは僕がやっている音楽を含めて、様々な芸術活動に通じることではないかと考えました。特に音楽、更に限定的なことに絞ってジャズに関していえば、会場の雰囲気を感じ取ったり、季節を考えたり、時間帯を考えて選曲をすることができる能力を持つことが肝要なのではないか、ということです。そのような気遣い、配慮ができてこそ一流のミュージシャンなのではないかと、考えたのです。では、なぜジャズが夜の音楽、夜に合うのか、ということに関してはまたの機会に…。（お詫び。今回は時候の挨拶を飛ばして、早速本題に入ってしまったこと、ご容赦ください。笑）



岩波新書「風姿花伝」表紙

音楽を通して気さくに語り合える集いです。音楽好きな友の会 音友レコード倶楽部 ONTOMO Music Record Club. 9月3日(日) / 9月17日(日) 午後1:30~午後4:30. イダナカ商店街 / 井田小学校正門前 イダカフェ 参加費¥500 / 飲み物¥500円(クッキー付き)

「くじら座」&ゲスト・ミュージシャン、そして持ち寄り。

7月始めのレコード倶楽部は音友会スタッフでもある「くじら座」が定例で開催している「アコースティックライブ・イダカフェ」にゲストで参加していただいた演奏家を振り返ってそれぞれのCDから一曲ずつ聞いてみました。まずは「くじら座」①の買えないCD



①くじら座



②「SWEET RAGTIME」



③PICNIC



④「レット・イット・ビー…ネーキッド」



⑤「イツ・タイム・フォー・ティナ」



⑥「ある晴れた朝」

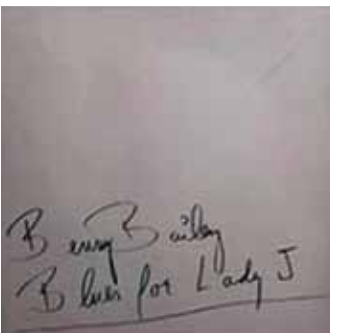


男性ヴォーカルがわかれば「ジャズ耳」は完成？

JAZZ専科は猛暑のなかでの開催でした。持寄りタイムでは3人の方の参加がありました。まず1928年生まれのピアニスト、ジーン・ティノヴィの紹介がありました。『Smaile』は趣味の良いデュオアルバムでした。次は今もJazzバンドでアルトサクスを演奏しているという初参加の方が、ボサノヴァを2曲選んでくれました。最後はいぶし銀のトランペッターと言われるベニー・ベイリーのワンホーン・カルテットによる幻のアルバムを紹介してくれました。ジャケットは自筆のサインのようです。（写真1）DJタイム前半は男性ヴォーカル特集でした。評論家の後藤雅洋氏は某雑誌で「男性ジャズ・ヴォーカルは、とっつきにくいジャンルの最たるもの」と記しています。男性ジャズ・ヴォーカリストは数も少なく、その代わりみな実力派揃いだと記述が続き。今回は、フランク・シナトラ、ナット・キング・コール、メル・トーム（写真2）、ジョニー・ハートマン、ジミー・スコット、ビル・ヘンダー

ン、トニー・ベネットのビック・ネームの定番アルバムから計14曲を楽しみました。おなじみの曲が多かったので口ずさんでいる方もいらっしゃいました。最後はルイ・アームストロングの「この素晴らしい世界」で締められました。男性ヴォーカルがわかれば「ジャズ耳」は完成、つまり男性ヴォーカルはジャズ・ファンの最終到達地点と評する後藤氏の意見に納得している拙生です。後半は「Pacific Jazz / World Pacific レーベルでも聴いてみようか」との標題で拙生が敬慕するDJの登場でした。パシフィック・ジャズは1952年ロサンゼルスに設立され多くの名作を録音したウエスト・コースト・ジャズの代表的レーベルで、その後58年にワールド・パシフィック・レコードと改名しましたが、60年代には再びパシフィック・ジャズに戻っています。64年にリパティ傘下に入り、現在はキャピトル傘下との解説がありましたが、このジャズ専科ではジャズの専門知識も習得でき実に満足感を覚えます。

リ・コニッツ、ジェリー・マリガン、バド・シャンク、アート・ベッカー、チェット・ベーカー、ジム・ホール、ボブ・ゴードン、ビル・パーキンス、クリフォード・ブラウンのなど、西海岸で活躍したビッグネームが続々登場したプログラムで、本日出席できなかった人は幸せな人だと思います。バド・シャンクの抜けるようなアルトが流れましたが、そのLPジャケット（写真3）は墨絵風の人物イラストで拙生の好きな絵柄でした。今回最も気に入った演奏はDJが西海岸で1、2位と評価されたリッチー・カムカカとビル・パーキンスのテナー2管ものでした。2曲聴いてみてこの二人の演奏判別は難しく自分の未熟さを感じました。その他ジム・ホールの初リダーアルバムの紹介など、いつもながら名盤の揃い踏みでワクワクしながら聴き入っていました。レコードショップで見つけたら購入したいアルバムをまた手帳にメモしていた拙生です。皆様、次回のご来店をお待ちいたします。（参加者 K,T）



①BENNY BAILEY/Blues For Lady J



②MEL TORME/ SWINGS SHUBERT ALLEY



③BUD SHANK / THE BUD SHANK QUARTET

ウエストコーストの風！

クールだけじゃない。抒情豊かなJAZZ BOSSAをいかがですか？

もしも仮に、「好きなJAZZのアルバムを5枚だけ選びなさい」と言われたらどうしますか？困りますよね。でも私はこう答えます。「1枚は決まっているけど、残りの4枚はゆっくり考えさせてくれ!」と。その1枚はNO.1ではないけれど、けて外せない程大好きな1枚なんです。今回はその1枚、ポール・デズモンド「BOSSA ANTIGUA」をご紹介させていただきます。

ポール・デズモンドの印象ってどうですか？ジェリー・マリガン、デイブ・ブルーベック、ジム・ホール等、ウエストコースト系の白人ジャズマンと一緒にやっていたなあ、とか、癖の無い優しい音を出すんだよなあ、とか思うくらいで、あまりハッキリとした印象は無いんじゃないですか？でも、改めて彼のプレイにじっくり耳を傾けてみて下さい。アルトの音色もプレイもかなり独特な事がわかんと思ひます。透き通るような優しい音色で、息をするように抒情的なフレーズを繰り出す演奏は、この時代に誰もが目指していたチャーリー・パーカーの影響を一切感じさせない。同じ白人アルトであるアート・ベッカーと全然違いますよね。彼のスタイルは彼自身が作り出した彼のオリジナルと言って良いのではないのでしょうか!

キャリアの前半はデイブ・ブルーベックと長年組んでいて、あの名曲「TAKE FIVE」を作曲したおかげで有名になりましたが、あまりにも大ヒットしてしまったので、コアなジャズファンからはかえって避けられるような存

在だったような気がします。実際、ジャズ雑誌の人気投票アルトサクス部門で何回も第1位を獲得しているのに、専門家の評判はイマイチのような状態だったらしいです。後にCTIに行っちゃったのも「やっぱりイージーリスニングだね」的な風潮を助長してしまったのではないのでしょうか。そんなポール・デズモンドですが、私はジム・ホールと組んで録音したアルバム達が大好きです。1962年から1965年の間にRCAに5枚のアルバムを残しています。ジム・ホールとの相性がとても良いのでしょうね。二人とも派手なプレイをするわけではないのですが、お互いの呼吸を感じつつ、丁度同じくらいの熱を持って、互いに尊重し支えあっている感じの演奏です。

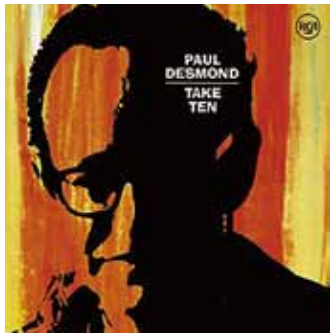
アルバムで言うと「TAKE FIVE」の姉妹曲が入っている「TAKE TEN」(写真①)やストリングスをバックにスタンダードを吹きまくる「DESMOND BLUE」(写真②)あたりが話題になる事が多いような気がしますし、「5枚とも雰囲気似ていて飽きてしまう。」と言う人もいますが、いえいえ、私の超個人的な意見では「BOSSA ANTIGUA」(写真③)が飛びぬけて素晴らしいと思います。

で、問題は何が素晴らしいか!です。さあ〜困ったな。好きなんだからどうしようもないのですが、何とか言葉に置き換えてみますね。まず、このアルバムは全編ボサノバ・ジャズでまとめられています。ここで告白を少なくちゃいけないのですが、実は私は「哀



愁」にめっぽう弱いんです。だからボサノバはもちろん、タンゴやフラミンゴなどラテン系の音楽は全てツボです。そんな私にとってジャズミュージシャンの演奏するボサノバ程魅力的なものはありません。さて、1曲目「Bossa Antigua」。ポールの作品です。ソフトなバックングの上で、ポールは見事にリラックスして、まるで呼吸をするように、余裕しゃしゃくのソロを展開しています。緊張感とか挑戦的とは正反対で80%くらいの力加減で吹いているんじゃないかな?暑い日差しの中、涼しい木陰でキリッと冷えたジン&ソーダを飲んでいるような気持ちになりますよ。次に聴いて欲しいのは、私が一番好きな4曲目「Samba Cantina」。これはもう、哀愁たっぷり、こんなに傷く悲しいような懐かしいような美しいメロディーがこの世にあるのでしょうか!ジム・ホールの控え目なギターに乗ってポールのアルトは物語を語り始めます。次から次へと泉のように湧き出すメロディーは時には切なく、時には哀しく、貴方の心を揺さぶる事でしょう。抒情的な5曲目も楽し気な7曲目も甘美な8曲目も全部素晴らしいんですけど、キリが無いので、後は皆さん聴いてみて下さい。

さて、好きなアルバム、残りの4枚はどれにしましょうか?考えるだけでも楽しい時間が過ぎますね。CDラックをもう1度見直してみよう。...



▲①TAKE FIVE



▲②DESMOND BLUE



▲③「BOSSA ANTIGUA」

イダナカ「夕市」ライブ くじら座・牧野ケント

7月22日、「夕市」の言葉がとてもびつたりな夏の元住吉、イダナカ商店街で、くじら座は第4回目のマンズリーライブを開催させて頂きました。

今回はゲストにGOOD BYE APRILのフロントマン・倉品翔さんをお招きし、盆踊りの香りが漂う土曜日をノスタルジックな音楽で彩りました。「平成の小田和正」と謳われることもある倉品翔さんは、その歌声で耳を虜にできるワンアンドオンリーの魅力を持つミュージシャン。しかし、決してその歌声の良さに溺れてしまふことのない芯ある楽曲メッセー

ジが、荒波に飲まれながらも跳いて生きている私たちの心にまで届けてくれます。この日のライブでも演奏された倉品翔さんの楽曲「明日はきっと少しだけ」は、自分の芯を失うことなく歌い続けている彼のバックグラウンドから、一言一言説得力のある言葉が投げ掛けられてくるのを実感することができます。倉品翔さんによる素敵なライブステージがお届けされたあと、私たちくじら座は夏祭りらしく浴衣と甚平に着替え、自分たちの楽曲を夏らしく披露させて頂きました。観客席から聞こえる拍手は吹き抜けの天井にまるで笑顔のように明るく響き、音楽を通じて皆様と一緒に幸せの空間をつくることのできた充実感に溢れていました。

イダカフェさんで開催させて頂いているくじら座のマンズリーライブでは、こうしたアコースティックの生の音、生の声をそのままの状態でお届けし、吹き抜けの天井が心地良く響く音の余韻を皆様のご自宅まで持って帰れるように企画することをコンセプトとし

ています。スマートフォンやタブレットの発達により音楽も映像コンテンツとなる風潮を感じることもありますが、目の前で歌うミュージシャンの表情や指先の動きまで見ることのできる、イダカフェさんならではの「ゼロ距離感」をお楽しみにお越し頂きたいと感じています。そこにはきっと、映像とはまた一味違う心に密着型の景色が広がっているはずですよ。

倉品翔



くじら座(左、牧野ケント、右牧野くみ。

金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!! 音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。



天井が高く、残響もとても心地よい空間です。その特性を生かし大きな音で聴くのではなく、ホールで聴くライブ感覚をこのカフェは醸し出しています。週末のこともあり、店の名前は「Cool Down j.」。一週間の疲れを安らげる無理のないサウンドで、心を癒して帰途についていただきたい。おいしいコーヒーとお酒。おつまみをご用意しています。

Cool Down j. 音響装置 ★アンプ:CAV T-88a、6L6自作、ONKYO A-913 ★スピーカーシステム: タンノイ・パークレー、ティアック。 ★プレーヤー:コスモ78回転仕様。 ★CDプレーヤー:パイオニア。 Every Friday is a jazzy night, Let's heal the fatigue of work. Mマガジン持参の方お1人様1回につき、1ドリンクサービス! ☆ ida cafe Friday Night ☆ Cool Down-J. 毎週金曜日 17:00-23:00 L.O.22:30 元住吉駅西口下車、グレーメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前



▲CAV T-88a